

予算	款	項	目	決算書
	6	4	1	232 頁

目名
林業総務費

事業名称
公有林管理整備事業

1. 概要

目的	公有林の適正管理及び継続的な整備を行い、森林価値の向上と山林の健全化を図る	対象	市有林及び分収契約林
事業概要	<p>○公有林整備委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市有林整備委託事業・・・昨年度施業実施した市有林(40.08ha)に対し5年間の火災保険に加入した。</li> <li>・公有林整備委託事業・・・公有林の下刈りを計画的に行い、森林の健全化を図った。(植栽後6年までの市有林)</li> <li>・森林地図情報システム保守点検委託事業・・・森林の計画的な整備・保全を推進するため、森林地図情報の更新を図った。</li> <li>・分収林整備委託事業・・・分収林の間伐を行い森林の健全化を図った。(清川町イゲ団地)</li> </ul>		

臨/経	細事業名称	事業内容 (主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	公有林整備委託事業	公有林の整備管理	委託料	11,186	10,456			8,428	2,028	2
計				11,186	10,456	0	0	8,428	2,028	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	公有林の適正管理	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画/後期計画(1-4-1)重点施策5による			
活動指標	指標	a 公有林の健全化	b	公有林の育成管理	c		d	
	数値	目標 —	目標	—	目標		目標	

## 3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
公有林の適正管理	ha	6.0	6.0	6.0
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 公有林の健全化	ha	6 ha	6 ha	6 ha
b 公有林の育成管理	人	40 人	40 人	1 団体
c		—	—	—
d		—	—	—

## 4. 課題と対応

課題
S30年代に契約した分収林の契約が期間満了を迎えており、その対応が課題となっている。
対応（改善点等）
伐期がきているが、伐採から育林まで莫大な費用がかかるため今後の施業について検討する。

## 5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

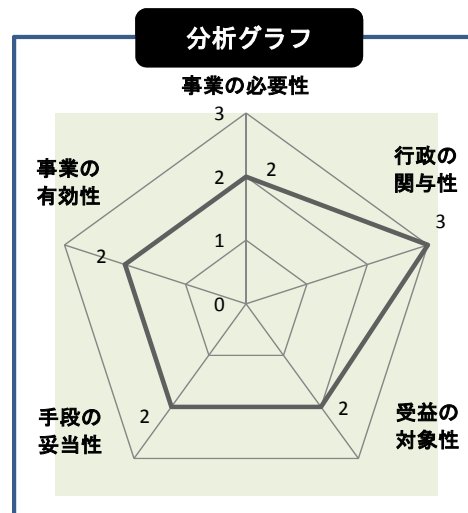
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		18,976	12,926	10,456	5,528
うち経常経費		5,858	4,059	1,618	1,645
財源内訳	国費				
	県費	248			
	市債				
	その他	39	491	8,428	25
	一般財源	18,689	12,435	2,028	5,503
うち経常		5,819	3,568	1,604	1,645
事業費に係る人件費		3,569	3,478	3,923	3,105
事業費に係る人役		0.83	0.81	0.90	0.70

## 6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市有林の管理は必要のため。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 公有林であるため、健全な育成管理を行う必要がある。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 所有管理者として、必要な業務。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 管理育成を行う事により、資源価値の増加。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 現在の管理は最低限必要な事業である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 計画的な管理を行う。



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	市森林整備計画に基づき適正管理を行い、森林の公益的機能を維持すること。